

市民の願いがかなう

南九州のリーディングシティ

都城

MIYAKONOJO CITY
PUBLIC RELATIONS,
MIYAZAKI



広報みやのじのシティ
PR&CO



8

August.
2009
[Vol.44]

特集

認知症になっても安心なまち

その他の特集

- 障害者自立支援協議会 ●定住自立圏構想 ●ふるさと応援寄付
- 救急医療の現状 ●うつ病を疑うサイン あなたは大丈夫？
- 混ぜたごみから思わぬ事故！ ●火災警報器の設置 ●上長飯霊地公園墓地

地域で職場で学校でみんなであつくる
認知症になっても安心なまち

みやまじよ

認知症サポーター

8,000人を目指して!

市では、平成20年度から認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を見守り、支援する「認知症サポーター」を養成しています。

認知症サポーターとは

国は、平成17年度から「認知症を知り地域をつくる10カ年」キャンペーンをスタートさせました。このキャンペーンの一環として「認知症サポーター100万人キャラバン」があります。全国に多くの認知症サポーターを養成し、認知症になっても安心して暮らせるまちを市民の手によってつくっていくことを目指しています。

認知症サポーターとは、認知症を病気として正しく理解し、偏見をなくし、認知症の人やその家族を温かく見守る応援者です。また、自分自身の問題として認識し、友人や家族に学んだ知識を伝えることも役割の一つです。

●問い合わせ 介護保険課

☎23-3184

認知症サポーター養成講座

市では、平成20年度に認知症サポーター養成講座で講師役を務める「キャラバン・メイト」を154人養成しました。養成されたキャラバン・メイトが、それぞれの地域や職場などで認知症サポーター養成講座を開催しています。

この講座の受講者には、「認知症の人を支援します」という意思を示す目印の「オレンジリング」を配布しています。

6月末現在、市内では認知症サポーターが2,299人養成されています。認知症の人とその家族が、住み慣れた地域で暮らし続けられる人づくりが進められています。

市では、さらに今年度中に認知症サポーターを4,000人養成し、来年度までに8,000人到達を目指しています。この取り組みが、「認知症になっても安心なまち みやまじよ」をつくることにつながると考えられます。

いろいろな場面でサポーター養成を実施しています！

【地域で】

各地域で活動しているボランティアの会議や自治公民館の学習会などで、地域で認知症の人とその家族を見守っていく活動を行う認知症サポーターの養成講座を開催しています。

【学校で】

市内の小中学生に「認知症」を正しく理解してもらい、地域で支えてくれる一員となるよう認知

症サポーター養成講座を総合学習の中で実施する取り組みが始まっています。子どもたちにも理解しやすいように、「紙芝居」仕立てにして実施しています。

【職場で】

地域の高齢者と接することが多い職場の皆さんを対象とした講座も地域の一員として考え、認知症の人とその家族を支える応援者の役割を担ってまいります。

「認知症サポーター養成講座」の開催方法は・・・

地域や職場で、この講座を開催したいときは、都城市社会福祉協議会地域福祉課まで問い合わせください。講師となるキャラバン・メイトを派遣したり、講座の内容などについて相談に応じたりします。

●問い合わせ

都城市社会福祉協議会
地域福祉課 ☎25-2123

「認知症」家族支援プログラムがスタートします！

市では、認知症の人を介護している家族を対象に、このプログラムを開催します。認知症への理解を深めながら、同じ認知症の人を介護している家族同士の交流を図るために実施するものです。

●日時 8月～平成22年1月の
毎週第4火曜日
13時30分～

※9月のみ第5火曜日

●場所 総合社会福祉センター
2階ボランティア室

参加申し込みおよび内容に関する問い合わせは、介護保険課または地域包括支援センターに問い合わせください。

世界アルツハイマーデー記念 「認知症の人の声を聞く講演会」

市では、9月21日の世界アルツハイマーデーに合わせてキャラバン・メイトと認知症サポーターの皆さんへのフォローアップ研修として、講演会を開催します。

今回の講演会では、若年期認知症を発症された本人とその家族に講演してもらいます。本人と家族の思いを聞くことにより、認知症の人の気持ちを少しでも理解できるように開催するものです。

●日時 9月12日(土)
13時30分～

●場所 総合文化ホール
中ホール「あさぎり」

●対象 キャラバン・メイト、
認知症サポーター、そのほか
この講演に興味のある人

●定員 600人

●申し込み 8月31日(月)まで
に介護保険課へ
☎23-3184

地域で



横市地区自治公民館長会

学校で



木之川内小学校

職場で



(株)都城北諸地区清掃公社

温かい支援の輪、
皆さんで
広げましょう！

障がいのある人も 普通に暮らせる まちづくりを目指して

「障がいがあるけど、身近な地域で働きたい」「地域で自立した生活を送りたい」「どんな福祉サービスがあるのかよく分からない」など、障がいのある人やその家族はさまざまな悩みや心配ごとを抱えています。

今回は、障がいのある人たちが、地域社会で「元気に」「楽しく」「安心して」生活できるための取り組みについて紹介します。

●問い合わせ 福祉課 ☎ 23-2980

Fax 24-1188

障がい者への福祉サービス

これまで、障がい者に対する福祉サービスは、「身体障がい」「知的障がい」「精神障がい」の3つの種別ごとに行われていました。

平成18年に施行された障害者自立支援法では、この3つの障がいが一元化され、障がいの種別に関係なく生活支援や就労支援、権利を守るために必要な支援が総合的に行われるようになりました。

障害者自立支援協議会の設立

制度上、一元化はされたものの、障がい者が抱える問題や課題は一人一人異なります。

本市では、その解決と改善を図ろうと、昨年3月に市内の障がい者を支援する関係機関による「都市障害者自立支援協議会」が組織されました。

障害者自立支援協議会って

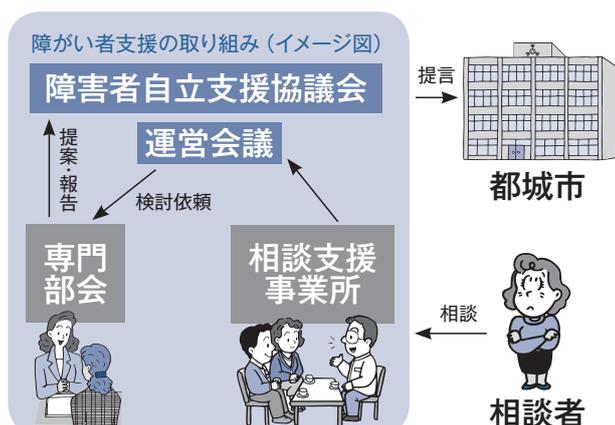
何をやるの？

障害者自立支援協議会では、障がい者の相談窓口である「相談支援事業所」を中心に個別支援を行い、在宅福祉サービスの導入に向けた調整を行ったり、医療機関との連携を図ったりするなど、障がい者が抱えるさまざまな問題の解決に向けた協議を行っています。

関係機関と連携した取り組み

個別支援を行う中で出てきた課題や困難な事例については、検討機関である運営会議で、相談支援事業所やサービス事業所、医療機関、地域の代表者などさまざまな関係機関からの意見を集約し、問題解決に向けた話し合いを進めています。

また、昨年度は、3つの専門部会の中で、生活の場を確保するための居住サポート体制や特別支援教育支援員を支える体制などについて協議を行いました。それらを本市の障がい者施策に反映できるように、現在、支援体制の確立に向けた調整を行っています。



市内にある相談窓口

障がい者の身近な相談窓口として、本市には4カ所の相談支援事業所があり、障がい者が地域で安心して生活できるように、それぞれの事業所間で連携を取り合い、必要な支援を行うためのネットワークができています。

相談は無料ですので、心配ごとがあったら、何でも相談ください。

相談支援事業所の主な活動

- 福祉制度や福祉施設などの紹介
- 各種申請の手伝い
- 介護の指導や助言
- 専門相談員による助言や援助
- 同じ障がいを持つ仲間によるアドバイス（ピアカウンセリング）
- 就職相談や関係機関との連携

市民の皆さんも情報提供を！

相談支援事業所では、これまでさまざまな相談を受け付けてきました。相談件数は、年々増加してきていて、中には年間2,000件以上の相談を受け付けている事業所もあります。

相談は、障がい者本人や家族からのものがほとんどですが、近所の人からの情報提供や支援依頼も少なくありません。

市民の皆さんも、「近所の人の家の様子がいつもと違う」など、普段の生活の中で気付いたことがあったらすぐに連絡ください。

皆さんの温かい支援の気持ちや、誰もが住みやすいまちづくりへとつながっていきます。

日本一住みやすい まちを目指して



都城市障害者自立支援協議会

会長 蓑部 千鳥 さん

協議会では、障がい者やその家族が地域で安心して生活できる体制をつくるために、さまざまな角度から協議しています。その中で感じたのは、福祉関係者や行政だけでは解決できない問題がたくさんあるということです。地域で困っている障がい者を支援するためには、その地域の人からの情報提供や支援も必要です。地域の人たちの温かい気持ちがあると、その地域も変わっていきます。障がいのあるなしにかかわらず、“住むんだったら、都城市に”といわれるようなまちづくりを共に目指しませんか？

相談支援事業所では、障がい者の自立と社会参加を応援します

介助や生活に関する相談



訪問介護事業所クローバー
都城市関之尾町4221-1

☎ 37-3370
Fax 45-4117

家庭的な雰囲気の中で気軽に相談できます。日常生活で手助けが必要な障がい者に支援をしています

福祉や生活に関する相談



障害者生活支援センター

都城市松元町4-14
(総合福祉会館内)
☎ 26-0294
Fax 26-0333

障がい者が地域で安心して生活できるように、自立と社会参加を応援します。また、外出の手助けや各種申請書類の代行業務などを行っています

教育や生活に関する相談



サポートセンターたかちほ

都城市都原町7171
(高千穂学園内)
☎ 46-2078
Fax 26-5188

コーディネーターが、在宅の障がい者（児）とその家族の地域生活を支援します。子どもから大人まで幅広くサポートしています

就業と生活に関する相談



障害者就業・生活支援センター

都城市中町1-7
IT産業ビル1階(旧寿屋ビル)
☎ 22-9991
Fax 22-9992

今年4月にオープン。障がい者が安心して働けるように、就業や生活上の悩みの相談に応じ、就職後は職場定着できるように支援しています

安心して暮らせる圏域を目指して

都城広域定住自立圏構想

「定住自立圏構想」とは

地方で、安心して暮らせる地域をつくり、地方から都会への人口流出を食い止める、地方への人の流れを生み出すために全国的な見地から推進する施策です。

定住自立圏構想では、都市機能が整備されている「中心市」と生活面、経済面で関わりが深い市町村が、議会での議決を経て、連携して取り組む内容やそれぞれの役割を定めた協定を締結し、定住自立圏を形成します。

都城広域定住自立圏構想

本市は、平成20年10月に、総務省から他の地域のモデルとなる先行実施団体に選定され、財政面を中心とした国からの支援を受けられるようになりました。

そして、「広域救急医療体制の整備・充実」に向けた取り組みを中心に、都城市が中心市となり、三股町、曾於市、志布志市の関係市町とともに協力しながら圏域全体の活性化を図ります。



定住自立圏の形成に向けて

市では、平成21年4月22日に、「都城市定住自立圏中心市宣言」を行い、圏域での生活機能の確保に関して中心的な役割を担う意思を表明しました。

そして、平成21年6月に、都城市内部の検討組織となる検討委員会と3市1町で協議と合意形成を行う機関となる協議会を設置。現在は、議会に提出する協定案の策定を行っています。

協定案がそれぞれの議会で可決されると、可決した団体で都城広域定住自立圏を構成します。この構成団体で、協定に基づいて推進する具体的な取り組みや期間を定めた「定住自立圏共生ビジョン」の策定を行い、来年度以降の事業実施に向けた取り組みを進めます。

都城広域定住自立圏

役割分担を行って協力・連携

- ① それぞれの市町と1対1で協定を締結して定住自立圏を形成します
- ② 圏域の課題に対して役割分担を行いながら、協力・連携して課題解決に取り組みます

3市1町で連携を想定している取り組み

広域救急医療の整備・充実

医療・救急医療の機能強化、関連機関相互の連携強化、人材の確保などを通して広域救急医療体制の整備・充実を図ります

「都城志布志道路」建設促進

国と宮崎県・鹿児島県に対し、圏域で連携して、今まで以上に早期完成を呼びかけます

圏域マネジメント能力の強化

人材の育成や交流を推進して、圏域の経営能力の向上を図ります

※詳しくは、市のホームページをご覧ください

都城広域定住自立圏構想

検索

市では、将来を見据えた地域のさらなる発展を目指して「定住自立圏構想」を推進しています。今後、三股町、曾於市、志布志市の2市1町と連携・協力して地域の課題に取り組みます。

●問い合わせ 経営戦略課

☎ 23-21115

「ふるさと都城」への応援をお願いします！

都城への思いをかたちに

We Love Miyakonojo

ふるさとに貢献したい、ふるさとを応援したいという思いを寄付という形で実現する「ふるさと納税制度」が2年目を迎えました。都城市が「生まれ育ったふるさと」である皆さん、都城市を「第二のふるさと」「心のふるさと」と思っている皆さん、ふるさと納税制度で「ふるさと都城」を応援してください。

「ふるさと納税制度」で

都城を応援しませんか？

ふるさとを応援したいという人の思いを実現するための「ふるさと納税制度」が始まり、2年目を迎えました。

市では、そんな温かい心、豊かな心を市のまちづくりに生かすため、5つのメニューをつくり、ふるさと納税制度による寄付をお願いします。

都城市ふるさと納税応援団

市では、寄付した人を都城市ふるさと納税応援団として登録し、寄付の状況や寄付を活用して行った事業を毎年報告するとともに、前年度の寄付者を対象に、地元の特産品を詰め合わせた「都城ふるさとセット」の当たる抽選会を行っています。

この機会に都会で暮らす家族や友人などに都城市ふるさと納税応援団を紹介してください。

寄付の際に指定できる5つのメニュー

ふるさと子ども支援



子育てへの取り組みを支援します

ふるさとまちづくり環境支援



協働のまちづくりや中心市街地活性化への取り組みを支援します

ふるさと環境支援



環境・森林の保全への取り組みを支援します

ふるさとスポーツ文化振興支援



スポーツ・文化振興への取り組みを支援します

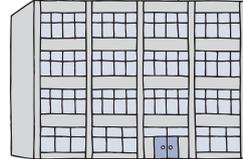
ふるさと長寿支援



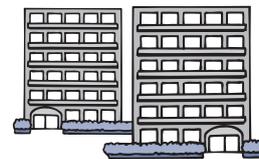
高齢者への取り組みを支援します

ふるさと納税のイメージ

税務署 国税局



居住地市町村



③ 所得税確定申告
※②受領証明書を添付

④ 所得税の還付

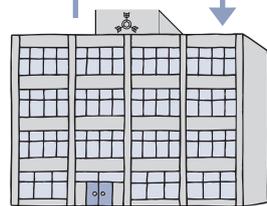
⑤ 住民税決定通知
(寄付金控除後)

※控除対象額は、寄付をした額から5,000円を除いた額(所得額などの条件で変わります)。詳しくは、お問い合わせください

今は都会に住んでるけど...
「ふるさとに恩返ししたい」
「ふるさとを応援したい」



居住地



都城市

申込方法は？

「都城市ふるさと応援寄附申出書」(市のホームページから取得可能)に必要事項を記入のうえ、ファクス、郵送(〒885・8555)、またはメールで経営戦略課に提出してください。

なお、インターネットの利用ができない人については、郵送しますので連絡ください。

問い合わせ

経営戦略課

☎ 23-2115

Fax 23-2006

安心できる地域医療を目指して！

安心した生活を送るための重要な要素の一つである医療体制の充実。中でも夜間の急な発病などに対処する救急医療は、市民にとってなくてはならないものです。全国的には救急医療体制が崩壊している地域もある中、本市では都城市北諸郡医師会と連携を図り、都圏域の高次の救急医療体制を築いています。3回シリーズでその取り組みを紹介しますが、初回は救急医療体制の現状を報告します。

●問い合わせ 健康課 ☎23-2765

都城市の救急医療体制

市郡医師会が当番在宅制度でスタートさせた救急医療体制。その後、広域市町村圏事務組合と市郡医師会が連携し診療体制を整備しましたが、24時間診療や2次救急医療の課題が残りました。

こうした課題を解決するため、現在の都城救急医療センター（大岩田町）を市郡医師会病院と同時に開設。内科・外科・小児科の医

師が勤務し、24時間の救急医療体制を支えています。

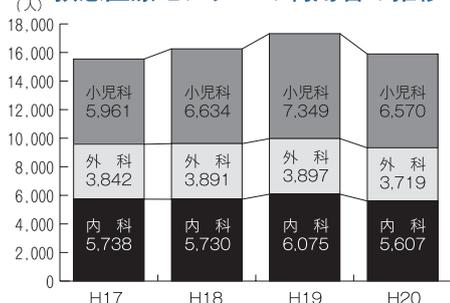
また、脳疾患や心疾患などの重篤な患者にも対応するため、市郡医師会病院の医師に緊急連絡を行うオンコール体制もとっています。必要に応じ緊急検査や手術を行うなど、直ちに治療チームが編成され高次の医療を提供することで、これまでに多くの人命を救っています。

救急医療体制の変遷

昭和36年	市郡医師会が当番在宅制度をスタート
昭和55年	広域市町村圏事務組合が夜間急病センターを開設、運営は市郡医師会に委託 ※土・日曜日、祝日の19時～23時の初期救急のみ
昭和60年	救急医療センターを市郡医師会病院と同時開設 ※毎日19時～翌朝7時までの初期救急、重篤な患者は市郡医師会病院と連携し2次救急まで対応

※初期救急は入院や手術を伴わない医療。2次救急は入院治療を必要とする症例に対する医療

救急医療センターの利用者の推移



患者の4割強は小児救急

平成20年に救急医療センターを利用した人の数は、内科5,607人、外科3,719人、小児科6,570人で、小児救急患者が4割を超えています。共働き家庭の増加や核家族化などの社会構造の変化に伴い、こうした小児救急の利用が高まっており、一晩で診る患者の数が50人を超えることもあるなど、医師への負担が重くなっています。

医師不足への対応

地方の医師不足が進み、診療科目の閉鎖など、救急医療体制が崩壊している地域もあります。

都城北諸郡地区の医師の数も減少し体制の維持が厳しい状況の中、特に小児科の医師不足は緊急

の課題となっています。

こうした医師不足に対応するために、会員医師の協力をはじめ、新たな医師の雇用や、宮崎大学および福岡大学医学部からの医師派遣により、救急医療体制を保っています。

日ごろの心掛けを忘れないで

救急医療は夜間の急な発病などに対応するために行っています。最低限度のスタッフで診療に当たるため、昼間のように時間をかけた検査などはできません。緊急性のない軽い症状で夜間診療を受けるようなコンビニ受診は避け、日ごろからかかりつけ医に相談して、できるだけ昼間に受診するように心掛けましょう。



うつ病を疑うサイン あなたは大丈夫？

○月×日(△曜日)



こんなふうに
感じたこと
ありませんか

- ① 毎日の生活に充実感がない
- ② これまで楽しんでできたことが、今では楽しめなくなった
- ③ 以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる
- ④ 自分は役に立つ人間だと考えることができない
- ⑤ わけもなく疲れたような感じがする
- ⑥ 死について何度も考えることがある
- ⑦ 気分がひどく落ち込んで、自殺について考えることがある
- ⑧ 家族が亡くなるなど、つらいと思ったことがある

※下段のチェック方法で、自己診断を試してみましょう

本市で平成19年中に、自殺で亡くなった人の数はこれまでで最も多く、深刻な問題となっています。その大きな原因となっている「うつ病」。決して特別な病気ではありませんが、ほっておくと自殺に至ることもあります。一人で悩まず専門医に相談してください。

都市部の自殺の現状

自殺で亡くなる人の数は平成10年以降急増し、全国で毎年3万人を超えています。本市でも平成19年中に自殺した人の数は66人。また、自殺未遂者は自殺した人の10倍にのぼると推定され、多くの人々の健康を脅かす深刻な問題となっています。

自殺の背景にある「うつ」

自殺の原因は、健康問題や多重債務といった経済的問題など、さまざまです。

また、多くの自殺者がうつ病にかかっていたり、心の問題を抱えていたりして、恥ずかしい、人に知られたくないなどの思いから、病院を受診していないという調査結果も出ています。

こうしたことから、うつ病対策が自殺予防に大きな効果があるのではないかといわれています。

うつ病は身近な病気

うつ病は誰でもかかる可能性のある身近な病気です。やる気の問題、なまけ病ではありません。夜中や朝早くに目が覚める、気力や食欲がない、考えがまとまらないなど、うつ病の初期症状はさまざまです。なかなか本人は気付きません。疲れているためだろうと思つて内科を受診し、さまざまな検査をして問題はないと言われ、初めてうつ病を疑うこととなります。

うつ病対策

体や心の変化に早く気付き、適切な治療を受けることでうつ病は治すことができます。うつ病は休養が大切ですので、無理な外出や気分転換などは勧めず、本人の話聞いてあげることが大切です。

一人で悩まず、早めの相談を

〈電話相談窓口〉

- ころの電話
月～金曜日 9時～19時
(祝日・年末年始を除く)
☎0985-32-5566
- 鹿児島いのちの電話
※24時間対応
☎099-250-7000
- 宮崎自殺防止センター
水・金・日曜日 20時～23時
☎0985-77-9090

〈相談機関〉

- 都城保健所 ☎23-4504
- 宮崎県精神保健福祉センター
※要予約
☎0985-27-5663
- 福祉課 ☎23-2980
- 各総合支所健康福祉課

〈相談窓口情報サイト〉

- みやざきころ青Tねっと
<http://www.m-aot.net>

〈問い合わせ〉

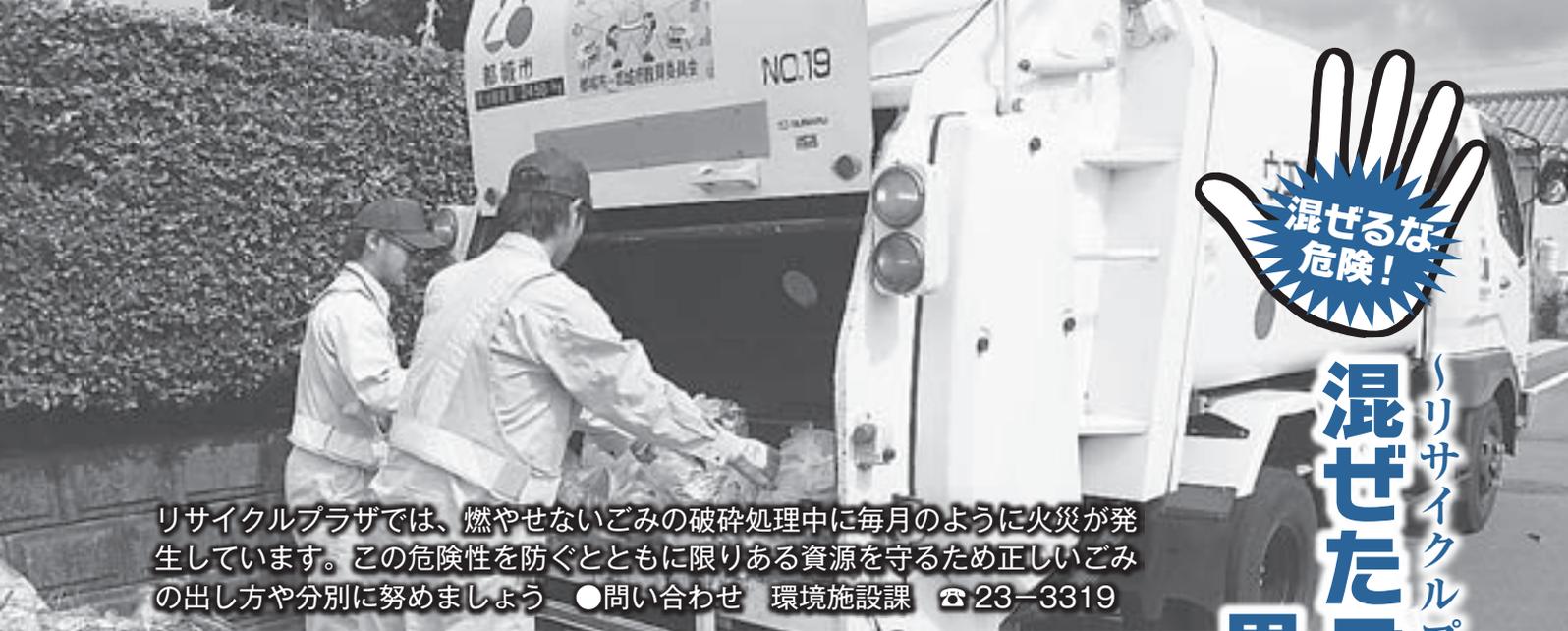
- 福祉課 ☎23-2980
- 都城保健所 ☎23-4504

うつ病の自己チェック

上段の①～⑧の質問について、自己診断の結果を右の表に当てはめたとき、3段階のいずれかで判断基準に該当し、日常生活に支障が出ている人はうつ病の可能性がります。一度専門医に相談してみましょう。

項目	該当項目
①～⑤	2項目以上
⑥・⑦	1項目以上
⑧	1項目以上

放置してうつ病が深刻化してしまうと、自殺に至ることもありますので、こうした事態を避けるためにも家族や周囲の人たちが普段から気を配り、心の異変に少しでも早く気付いてください。



リサイクルプラザでは、燃やせないごみの破碎処理中に毎月のように火災が発生しています。この危険性を防ぐとともに限りある資源を守るため正しいごみの出し方や分別に努めましょう ●問い合わせ 環境施設課 ☎23-3319



リサイクルプラザからのお知らせ 混ぜたごみから 思わぬ事故!

ごみ処理中の火災が多発

リサイクルプラザでは、本市および三股町から排出される燃やせないごみや不燃性粗大ごみを破碎機で小さく砕き、この中から資源である鉄やアルミを取り出しています。ところが、この破碎作業中にぼやが発生しています。

原因はカセットボンベ

火災の主な原因は、ごみを破碎する時に、燃やせないごみとして捨てられたカセットボンベやスプレー缶、使い捨てライターなどに残っていたガスに引火するためです。このような火災が発生すると消火作業に時間がかかり、本来のごみ処理作業に支障をきたします。過去には約1カ月間、ごみの破碎処理が停止した事例も発生しています。カセットボンベ、スプレー缶は、必ず穴を開けて資源ごみとして出し、ライターについては、中のガスを使い切って燃やせないごみとして出しましょう。

リサイクルは一人一人の心掛け

平成20年度にリサイクルプラザへ搬入された燃やせないごみの量は約1万80ト。その中には、本来は資源ごみである空き缶、空きびん、ペットボトル、白色トレイが多量に混入しています。資源ごみを燃やせないごみと一緒に出すと、大切な資源を不燃物と一緒に最終処分場に埋め立て処理することになります。また、このような燃やせないごみから取り出した空き缶などは不純物が混ざっていて再利用しにくくなります。一人一人の分別の心掛けがごみの減量やリサイクルにつながります。

Interview



リサイクルプラザ職員
飯塚 哲朗さん

分別の大切さを 家族とみんな考えて

ガスボンベなどに残ったガスに引火して、火災が起きると消火活動に30分以上かかりごみ処理作業に支障をきたします。適切なごみの処理を心掛けてください。また、さいせい館では、廃材によるステンドグラス作りや牛乳パックを材料とした紙すき、環境についてのクイズコーナーなどが設けてあります。夏休み期間中に、家族みんなで行って、環境について考えてみませんか？

さいせい館からのお知らせ

環境をテーマにした「絵画・作文コンクール」の作品を募集します。

●応募作品

絵画部門 四つ切り画用紙
作文部門 400字詰め原稿
用紙3枚以内

●応募資格

の小中学生 本市および三股町

●募集期間

8月1日(土)～
9月5日(土)

●問い合わせ

さいせい館 ☎36-3900

住宅用火災警報器の早期設置で安全な住まいを！

平成18年6月1日から新築住宅への住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。また、それ以前に建てられた住宅については、平成23年5月31日までに設置することになっています。火災はいつ発生するか分かりません。家族の命を守るために一日でも早く設置しましょう。

住宅用火災警報器とは

どんなもの？

住宅用火災警報器は、煙や熱を感知し火災の発生を警報ブザーや音声によって知らせられます。就寝中などの気付きにくい状況でもいち早く避難できるため、逃げ遅れによる死亡など最悪の事態を防ぐことができます。



住宅用火災警報器の値段は4,000円～7,000円が主流

どこに取り付けたいの？

寝室として利用するすべての部屋に設置しましょう。2階に寝室がある場合は階段に設置が必要です。さらに避難経路となる廊下や階段、台所にも設置すると安心です。

アパートや賃貸住宅は

誰が取り付けるのですか？

所有者（家主）、管理者または占有者（入居者）のいずれかが取り付け、維持管理することになります。借家を例にとると、家主が所有権、入居者が占有権を有していることから、双方に義務があります。賃貸借契約などの内容により異なりますので、まずは、家主と相談しましょう。

どこで販売しているの？

電器店やホームセンターなどで購入できます。購入する際には、日本消防検定協会の検査に合格したNSマーク付きのものを選びましょう。

問い合わせ

消防局予防課 ☎22-8884

上長飯霊地公園墓地の利用者を募集しています

平成19年度に開設した上長飯霊地公園墓地の利用者を募集しています。上長飯霊地公園墓地には、これまでの市営墓地にはなかった4つの特徴があります。

①完全管理型施設

周囲をフェンスで囲み、出入り口を制限。門扉の開閉時間を定めることにより、墓石へのいたずらや置き引き、車上荒らしなどの犯罪を防ぎます。

②人に優しい施設

高齢者や障がい者の利用に配慮して、駐車場から墓地区画まで段差のない作りになっています。また、施設内のトイレは、赤ちゃん連れや車いすの人の利用も可能です。

③環境に配慮した施設

施設内の駐車場や雨水側溝は浸透性のある材質で地下水保全に配慮しています。

④公園を併設

公園を併設した墓地は、市内では初めてです。利用者の休憩場所として、ほかにあずまや・ベンチも設置してあります。

利用条件

- ・市内に居住している人
- ・使用料(40万円)と管理料(5年分1万5,000円)を一括納入できる人

施設の概要

所在地 上長飯町283番

区画数 1,310区画

駐車台数 57台

開放時間

3月～9月は6時～18時

10月～2月は7時～17時

問い合わせ

環境政策課 ☎23-2130



国道222号を木工団地から三股町方面へ約1.5km



学び 生涯学習初級講座が始まります

◎申し込み きらりネット都城 ☎23-4080

9月から短期(全4回)の講座を開催します。受講には申し込みが必要ですが、定員に達しない場合は、開催しないこともあります。参加希望者多数の場合は抽選となります。

●定員	各講座10～20人
●対象者	一般人の初心者
●受講料	無料(教材費は別途必要)
●講座名・場所・日時・締切日	表装(絵手紙掛けなど) 中央公民館 毎週金曜日(9月18日金)～13時30分～16時30分 締切日 8月25日(火) アートフラワー 祝吉地区公民館 第1・3金曜日(9月4日金)～9時30分～11時30分 締切日 8月25日(火) ヨガ 五十市地区公民館 毎週火曜日(9月1日火)～10時～12時 締切日 8月22日(土) 親子ピクス(子ども1歳半～3歳) 横市地区公民館 第2・4土曜日(9月12日土)～10時～11時30分 締切日 9月2日(水)

実用書道

沖水地区公民館
第1・3水曜日(9月2日水)～10時～12時 締切日 8月23日(日)

健康体操・3B体操

志和池地区公民館
毎週木曜日(9月3日木)～19時30分～21時 締切日 8月25日(火)

草木染め

西岳地区公民館
第1・3月曜日(9月7日月)～13時30分～15時30分 締切日 8月28日(金)

手打ちパスタ料理

山之口地区公民館
第4金曜日(9月25日金)～10時～12時 締切日 9月15日(火)

とんぼ玉作り

高城生涯学習センター
第2・4金曜日(9月11日金)～19時～21時 締切日 9月1日(火)

編物(手編み)

東霧島地区多目的集会所(高崎)
第1・3木曜日(9月3日木)～10時～12時 締切日 8月25日(火)

※各講座とも締切日まで申し込みください

暮らし 10月1日から社会教育施設の使用料が変わります

●問い合わせ 中央公民館 ☎24-5969
総合支所管内の施設については、各総合支所教育課へ問い合わせください

既存施設の効率的な利用と、利用者負担の公平化、均衡化を目的として使用料の改定を行います。新しい使用料については問い合わせください。

【使用料の主な変更点】

- ① 利用時間の区分が『朝・昼・夜の時間帯』から『1時間単位』へ
- ② 超過時間の取り扱いが『1時間切り上げ』から『30分以内は0.5時間、30分超は1時間』へ
- ③ 部屋の広さによる料金設定と変わりました
- ④ 多目的ホールを体育用として利用する場合は体育施設と同様の取り扱いになります

【開館時間】

○9時～22時

【休館日】

- 1月1日から1月3日まで
- 12月29日から12月31日まで
- 毎月第3日曜日 ただし、コミュニティセンターは、毎週月曜日
- その他、市長および教育委員会または指定管理者が定める日

※各講座とも締切日まで申し込みください

国民健康保険被保険者証兼高齢受給者証の記載内容について

●問い合わせ 保険年金課 ☎23-2634

国民健康保険に加入している70歳から74歳の方が平成21年8月1日以降使用する国民健康保険被保険者証兼高齢受給者証（保険証）を、7月末に発送しました。

今回の保険証には、医療機関での自己負担割合について、「2割 ※平成22年3月末日までは1割」と記載されている人がいます。これは、国において、平成22年4月1日から医療機関での自己負担割合が1割から2割に引き上げられることが予定されているためです。

ただし、自己負担割合の引き上げについては、今後国において凍結される可能性もあります。凍結された場合は、平成22年3月までに保険証の差し替えを送付します。

国民健康保険被保険者証高齢受給者証

記号番号	00123456	有効期限	平成22年7月31日	性別	男
氏名	都城 太郎	一部負担金の割合	2割	住所	都城市姫城町6街区21号
生年月日	昭和14年5月1日	※平成22年3月末日	までは	1割	
資格取得年月日	平成10年4月1日	発行期日	平成21年8月1日	までは	1割
交付年月日	平成21年8月1日	住所	都城市姫城町6街区21号		
世帯主氏名	都城 太郎	保険者名	都城市		
保険者番号	450023				

暮らし 毎週木曜日 19時まで市民課窓口延長

●問い合わせ 市民課 ☎23-2128

通常の開庁時間に来られない人のために、毎週木曜日に証明発行窓口の受付時間を延長しています。仕事帰りなどにご利用ください。

●延長する時間 19時まで

※祝日および年末年始は除きます

●取扱業務

①証明書発行（住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍の謄本・抄本・附票、年金はがき、外国人登録記載事項証明書（本人に限る）、自動車臨時運行許可、所得・課税・納税・資産などの各種税証明書）
※一部発行できない場合があります

②印鑑登録申請

●その他 住民異動届および住民基本台帳カードの発行は、通常の開庁時間での受け付けになります。

また、戸籍届出は窓口延長のときでも夜間受付（警備員室）で取り扱います。

※各総合支所、各地区市民センターは、従来どおり17時15分までの受け付けとなります。

申請の際に本人確認を実施しています。運転免許証などを持参ください

文化 富松良夫賞 創作詩コンクール作品募集

●問い合わせ 市立図書館 ☎22-0239

「霧島の詩人」と称され、「南の宮沢賢治」とたたえられ、また、多くの校歌を作詞している郷土が生んだ詩人を顕彰して、「富松良夫賞」創作詩コンクールを行います。

●募集期間 9月1日(火)まで（図書館必着）

●応募資格 市内に在住、または市内に通学・通勤している人

●応募作品

(1)課題テーマ「霧島」の部
(2)自由テーマの部

●応募方法 (1)形式や長さは問いません。400字詰め原稿用紙を使用

(2)各部門ごとに1人1点まで

(3)作品には部門、住所、学校名・職業、氏名（フリガナ）、電話番号を明記

●その他 入賞者には、賞状と図書カードを贈呈します。また、応募作品の返却は行いません。作品の著作権は受領と同時に市立図書館に帰属します

※作品は未発表のものに限ります

●応募先 都城市立図書館「富松良夫賞」係（〒885-0073 姫城町7-22）まで
郵送または持参ください

全身泥まみれの珍プレーに大爆笑

高崎町どろんこバレーボール祭

どろんこバレーボール祭が6月7日、高崎町の水田で開催されました。同祭には、一般・女子・混成の部の3部門に県内外から41チーム244人が参加。選手たちは、水着や看護師の制服など思い思いの服装に着替えて、全身泥だらけになりながらボールを追っていました。岩崎和男さん（山之口町）は「プライドを捨てて、泥の中に突っ込みました。ストレス発散になりますね」と真っ黒になった顔に笑顔を浮かべていました。また、午後からはビーチフラッグも行われ会場は笑いの渦に包まれました。



幻想的な明かりで過ごす特別な夜

キャンドルナイトコンサート

地球温暖化防止などを目的に電気を消してろうそくの明かりでゆったりとした夜を過ごすという「アーリーサマーナイト」が6月20日、ウエルネス交流プラザで開かれました。同行事は夏至と冬至に全国的に行われる「100万人のキャンドルナイト」の一環として開催。照明を落とした会場では、500個を超える竹灯ろうに明かりをともしたり、関係者らも浴衣姿に着替えたりと雰囲気を出していました。また、ピアノ演奏なども行われ、訪れた観客を幻想的な雰囲気に引き込んでいました。



緑でつながる市民と大学

第2回フィールドワークショップ

緑化による潤いあふれる地域づくりを目指し、南九州大学都城キャンパスで6月20日、フィールドワークショップが開催されました。学生や大学通り会、かたらん花などの団体、市民ら約80人が参加し、車いすにも配慮し花壇の高さを工夫したヒーリングガーデン（癒やしの庭園）の紹介やまちづくりについての意見交換を行いました。福岡信允さん（南九大1年）は、「ヒーリングガーデンは市民にも開放しているので、もっと利用してほしい」と、緑から始まる市民との交流を願っていました。



お囃子に乗って寄席がやってきた

小学校巡回寄席

小学生が日本の古典芸能である落語に親しむ巡回寄席が6月23日から26日の4日間、市内の小学校8校で開催されました。26日に開かれた山之口小学校では、児童らが三遊亭金翔さん、柳家一琴さんによる落語「寿限無」「転失気」を楽しむんだほか、鏡味仙花さんの曲芸「江戸太神楽」では次々と繰り出される妙技に身を乗り出して見入っていました。落語を初めて生で見たという原裕太郎くん（5年）は「テレビで見るとは比べものにならないくらい面白かった」と生の古典芸能を楽しんでいました。





中央通りに元氣注入 12番街かつば元氣市10周年

中央通りにかつてのにぎわいを取り戻そうと地元商店主らが毎月第1土曜日に開催している「かつば元氣市」が10年目を迎え、7月4日に記念イベントが開催されました。会場となった12番街付近では商店街婦人部による豚汁の振る舞いや、野菜やホオズキなどを売る露店が並んだほか、ニジマスのつかみ取りも行われ、子どもたちが大きな歓声を上げていました。金澤紳一理事長は「各店協力して大型店とは違った取り組みで中央通りににぎわいを取り戻したい」と意気込んでいました。



さわやかな汗、健やかな触れ合い 自治公民館対抗バレーボール大会

山田地区公民館対抗バレーボール・ソフトバレーボール大会が7月5日、山田体育館ほか3会場で行われました。51回目の今年は、両種目に50チーム、約700人が参加。各会場では選手たちが日ごろ鍛えた腕を競い合い、応援に駆けつけた人々からは大きな声援が送られていました。参加した溝口勝さん（北田自治公民館）は「スポーツを通して、日ごろ話す機会のない同じ地区の若い人たちと交流ができるのがうれしい」と伝統ある地区行事を通して連携がさらに深まっているようでした。



スポーツで深まる交流の輪 高崎地区体育協会入スポーツ祭

高崎地区体育協会スポーツ祭が7月5日、高崎総合公園などで開催されました。22回目となる今年からは、ゲートボールやソフトボール、ミニバレーボールの自治公民館対抗競技と、パークゴルフなど6種目の公開競技に総勢約900人が参加。選手たちは互いの腕を競い合ったり、地区を越えた選手との交流を楽しんだりしていました。ゲートボール競技に出場した徳丸一夫さん（高坂自治公民館）は「普段の練習の時とは違い、いろいろな地区の人との交流ができるのが楽しみ」と話していました。



夏の到来、あふれる熱氣 おかげ祭り

都城に本格的な夏の到来を告げるおかげ祭りが、7月8日、9日の2日間行われました。8日の宵祭りでは、そろいの法被を着た跳（はね）人と呼ばれる踊り手が、高さ約4メートルの大灯ろう山車などとともに八坂神社から神社宮までの約1.5キロを練り歩きました。また、9日の本祭りでは、おかげ太鼓と4基のみこしも加わった行列に、通りを埋め尽くした観客らは大興奮。神社宮の境内でみこしの練り上げが始まると、祭りはクライマックスを迎え、会場内は熱気に包まれました。



人の風景



小学生将棋名人戦全国3位
プロ棋士への夢に向かって挑戦する

山口
孝貴^{たかき}くん

小 学生の将棋名人を決める
第34回小学生将棋名人戦

(日本将棋連盟主催)が5月3日に東京都の将棋会館で開催され、山口孝貴くん(沖水小6年)が西日本代表として出場し、全国3位の快挙を成し遂げました。全国大会への道は県大会、西日本大会の予選でのトーナメントの計10試合という厳しい戦いの連続でしたが、得意の攻めで順当に勝ち進み、西日本代表の

中で上位2人に残りました。西日本、東日本代表各2人で行われた全国大会では、惜しくもやぶれましたが「緊張したけど、実力は出し切れました」と満足げに戦いを振り返る山口くん。そんな山口くんと将棋との出会いは、小学1年の時に父親から将棋のルールを教わったのがきっかけ。小学2年からは、三股町にある将棋道場に週6日は通い腕を磨きました。

「指せば指すほど、難しさを感ずるけれど、将棋は変化が限りなくある。相手の出方も考えて、自分の構想を実現していくのが楽しい」と実戦練習(対局)や詰め将棋、プロ棋士が指した棋譜を並べ直し戦法を研究する棋譜並べと呼ばれる3つの練習を繰り返す山口くん。

得意な手は、角の方へと飛車を動かす「振り飛車」であるが、どんな相手とも臨機応変に指せ

るようになりたいと、これまでとは違う戦法を練習中です。

尊敬する棋士は、佐藤康光九段で、型にはまらず自分で局面を切り開いて、新しい手を指しているところが、山口くんの目指す将棋と重なります。

「将来は、プロの登竜門である奨励会に合格してプロ棋士になりたい」と、ますます練習に熱が入っていました。

都城讃歌



【よかとこみやこんじょ】

松崎 和実さん

都城に帰ると「やりたい事」「行きたい所」がありすぎて時間が足りず、そのまま東京へ：がパターンになっている。友人と会い、牟田町へ出かけたり、母親の手料理などを限られた時間の中で食べつくしたり…。地元でしか味わえない物・事。たくさんある中で近年よくやるのが、近所を歩くこと。結構面白いですよ。大人になると車が「足」になりがちだけど、歩くとスピード・目線が変わり、自分のルーツに関わるような事に気

松崎 和実 (まつさき かずみ)
プロフィール
昭和44年生まれ。都城農業高校卒。画家。水墨画を学び国内外で活躍。2005年に「箔画」という独自の画法をあみ出し絵を制作。2009年4月に市立美術館にて個展を開催。現在、高島屋の企画展に参加、全国を巡回中

付かされたり、考えさせられたりする。ずいぶん様変わりしたところもあるけど、ふとした所で、ずっと忘れていた当時のことを鮮明に思い出して新たな発見があったりする。

有名な建築家の言葉で「神は細部に宿る」というのがあるが、大事などころって案外、当たり前前の小さなところにあるのかもしれない。帰省の際は金御岳にも必ず行く。ここは車で。そこから町を見下ろすと、こんな小さな町でいろんな人に出会い、いろんな事があったもんだとつくづく思う。また、タイミンダによるけど雲海。あんなダイナミックで幻想的な世界を「見せてくれる」ところなんて、世界的にそうはないですよ。間違いない「よかとこ」です。みやこんじょは。

学校へ行こう

宮崎県立都城商業高等学校

上東町31街区25号

☎ 22-11758

「生徒・学校・環境が元気」

都城商業高等学校生徒会



私たちが通う都城商業高校は、女子生徒がとて多く、未来の経済を担う商業の専門知識を学べる学校です。学習環境も最新の施設が整っており、生徒たちは素晴らしい環境下で資格取得や大学への進学を目指して頑張っています。地域との交流も積極的に行っていて、中心市街地周辺で行う販売実習（コマースウル都商）や生徒手作りによるクーポンマガジン「みるく」の作成など、地域社会に貢献できる人材を目指した取り組みを行っています。

また、「文武両道」を目標に、部活動に励む環境も整っていて、運動部・文化部ともに輝かしい成績を残しています。

今年度、私たち都商生徒会は、「都商改革'09」をスローガンに、「より快適なスクールライフへ」「行事のバージョンアップ」「質のある都商生へ」の3つの目標を掲げて活動しています。

さらに、「都商活性化計画TAP (Tosho Active Project)」という組織を結成し、少人数では不可能な計画も全校生徒で取り組み、全員の活性化につなげようとしています。

今期の生徒会役員は5人と少人数ですが、学校をより良くしていくために頑張って活動していきたいと思っています。



◎学校のシンボル「憩いの中庭」

本校の中庭は、緑も多くきれいに整備されていて、生徒たちにとってよい憩いの場となっています。



募集

平成21年度

都城市職員採用試験

●区分

① 一般行政職（高卒程度・土木・電気・美術）

② 消防吏員（高卒程度・救急救命士）

●第1次試験 10月18日(日)

●内容 採用人数・試験会場など詳しい試験案内は、8月15日発行の「暮らしの情報」に掲載します

問 職員課 ☎23-2119

指定管理者

【活性化広場・チャレンジショップ】

●業務内容 平成22年4月1日～平成25年3月31日までの管理運営

●応募資格 法人その他の団体

●募集要項 8月3日(月)～9月2日(水)の8時30分～17時15分に商業観光課で配布(土・日曜日は除く)

●現地説明会 8月21日(金) 10時～

※事前に申し込みが必要

●申込期間 8月31日(月)～9月4日(金) 8時30分～17時15分

問 商業観光課 ☎23-2983

【カンガエールプラザ】

●業務内容 平成22年4月1日～平成25年3月31日までの管理運営

●応募資格 法人その他の団体

●募集要項配布 8月3日(月)～9月2日(水)の8時30分～17時15分に工業振興課で配布(土・日曜日は除く)

●現地説明会 8月20日(木) 10時～

※事前に申し込みが必要

●申込期間 8月31日(月)～9月4日(金) 8時30分～17時15分

問 工業振興課 ☎23-2753

【農業伝承の家】

●業務内容 平成22年4月1日～平成25年3月31日までの管理運営

●応募資格 法人その他の団体

●募集要項 8月3日(月)～8月31日(月)の8時30分～17時15分に農村整備課で配布(土・日曜日は除く)

●現地説明会 募集要項配布期間中、随時実施

※事前に申し込みが必要

●申込期間 8月31日(月)～9月4日(金) 8時30分～17時15分

問 農村整備課 ☎23-2981

【食肉センター】

●業務内容 平成22年4月1日～平成27年3月31日までの管理運営

●応募資格 市内に事業所または事務所を有する法人もしくはその他の団体

●募集要項 8月5日(水)～8月26日(水)の8時30分～17時15分に畜産課で配布(土・日曜日は除く)

●現地説明会 8月23日(日) 10時～

※事前に申し込みが必要

●申込期間 9月1日(火)～9月11日(金) 8時30分～17時15分 ※土・日曜日は除く

問 畜産課 ☎23-2769

【老人いこいの家】

●業務内容 平成22年4月1日～平成25年3月31日までの管理運営

●応募資格 法人その他の団体

●募集要項

8月3日(月)～8月28日(金)の8時30分～17時15分に福祉課で配布(土・日曜日は除く)

●現地説明会 8月25日(火) 14時～

※事前に申し込みが必要

●申込期間 8月31日(月)～9月4日(金) 8時30分～17時15分

問 福祉課 ☎23-3102

【高城地域交流センター】

●業務内容 平成22年4月1日～平成25年3月31日までの管理運営

●応募資格 法人その他の団体

●募集要項 8月3日(月)～8月21日(金)の8時30分～17時15分に高城総合支所産業振興課で配布(土・日曜日は除く)

●現地説明会 8月25日(火) 15時～

※事前に申し込みが必要

●申込期間 9月1日(火)～9月4日(金) 8時30分～17時15分

問 高城総合支所産業振興課 ☎58-2311



みんなの人権！思いやり交流プラザ 2009フリーマーケット出店者

●日時 10月11日(日) 10時～16時
(雨天中止)

●場所 神柱公園多目的広場
●募集店舗 20店 申込者多数の場合
合は抽選

●出店料 無料

●出店スペース 2メートル×2メートル

●申問 8月31日(月)までに生涯学習課
☎23-9545 Fax25-1043
learning@city.miyakonono.miyazaki.jp

統計グラフコンクール作品

統計知識の普及と統計の表現技術の向上を目的に、統計グラフを募集します。

●課題 自由

●規格 B2判(72・8センチ×51・5センチ)

●その他 紙質、色彩は自由。ただし裏面の板張りなどは不可とします

●提出先 9月8日(火)までに宮崎県統計協会 ☎0985-126-1704

●問 宮崎県統計協会または、市情報政策課 ☎23-2562

「わけもんの主張」出場者

有権者に求められる責任感や明るい選挙推進運動に対する意識の高揚を図るため、「わけもんの主張(新有権者発表会)」を開催します。

※上位入賞者は県大会に出場します

●対象 昭和55年4月2日から平成4年4月1日までの生まれで、原則として市に在住または勤務する人

●発表内容 『有権者として感じた政治について・選挙について』、『未来の有権者として願う政治について・選挙について』

●発表時間 5分程度(400字詰め原稿用紙4枚)

●申問 9月30日(水)までに原稿を選挙管理委員会事務局 ☎23-7864

都城市環境まつり実行委員

市民参加型の環境まつり(11月開催予定)の企画運営を行う委員を募集します。

●申問 8月21日(金)までに環境政策課 ☎23-2130 Fax25-6200
seikatu@city.miyokonono.miyazaki.jp

体力テスト参加者

●日時 9月12日(土) 8時30分

●場所 早水公園体育文化センター(体育館)

●対象 成年(20～64歳) 高齢者(65～79歳)

●テスト項目 成年(握力・上体起こし・長座体前屈ほか)

高齢者(握力・上体起こし・長座体前屈・開眼片足立ちほか)

●申問 8月28日(金)までにスポーツ振興課 ☎23-9546

地域環境保全功労者

環境美化やごみ減量化、自然環境、地球環境など、環境分野全般にわたる、積極的に取り組んでいる市民団体、事業者、学校、個人などを第4回都城市環境まつり(11月開催予定)会場で表彰します。※自薦、他薦は問いません

●申問 所定の推薦書を、8月31日(月)までに環境政策課 ☎23-2130 Fax25-6200
seikatu@city.miyokonono.miyazaki.jp

第56回都城市美展作品

●部門 第1部門 絵画(油彩・水彩・版画)・彫刻・グラフィックデザイン

第2部門 写真 第3部門 書 第4部門 工芸

●会期 9月11日(金)～27日(日)

●応募資格 都城市・三股町および鹿児島県曾於市・志布志市・大崎町の在住者(出身者、元在住者を含む)

ならびに通勤者、通学者とする。ただし、中学生以下は不可

●その他 作品は自作で未発表のもの、1人2点以内(1部門)

●出品料 1点につき1,500円 ※ただし、高校生は無料

●搬入日 8月29日(土)・30日(日) 9時30分～16時30分
●問 美術館 ☎25-1447



募 集

広報プレゼント寄付者

「広報都城」広報プレゼントの寄付事業所を募集します。

●事業所の要件

市内に店舗または工場を有するもの

●寄付してもらう商品

金額が2,000円以上、5,000円未満のもので、市内で製造・加工している食品や工芸品、化粧品などのほか商品券などの金券

●その他

寄付の回数など詳細については、問い合わせください

☎ 秘書広報課 23-3174

雇用創造先導的創業等奨励金 スポーツクラブ設立予定者

雇用創造先導的創業等奨励金の支給対象となる地域コミュニティ密着型スポーツクラブ設立および創業等予定者を公募します。

●対象 都城市、三股町においてスポーツクラブ設立および創業予定者

●募集要項配布期間

8月17日(月)～

28日(金) 8時30分～17時

(土・日曜日は除く)

●募集要項配布場所

都城地域雇用創造協議会事務局 市役所東館5階

※都城市、三股町のホームページ、都城地域雇用創造協議会のホームページからも取得できます

☎ 9月11日(金)までに都城地域雇用創造協議会 23-2412

人権に関する標語

●対象 市内に居住、勤務または通学する人(小学生以上)

☎ 9月11日(金)までに、はがき、または生涯学習課、各総合支所、各地区公民館に備え付けの応募用紙に標語、氏名(フリガナ)、住所、電話番号を明記の上、生涯学習課(〒885-18555)へ郵送または持参ください

☎ 23-9545

若者定住宅地分譲

●募集区画数 1区画

●住所 山田町山田9587番44

●面積 392.5平方メートル

●価格 118万9,000円

●申込資格 満18歳以上で、家族構成人員が、2人以上であること

●募集期間 8月17日(月)～

9月4日(金)

●契約者の決定 申込者が2人以上の場合、公開抽選により決定

☎ 山田総合支所総務課

☎ 64-11111



催 し

第4回きりしまんぢだ

ジュニアトライアスロン大会

●日時 9月6日(日) 8時30分～

●場所 高崎総合公園

●対象 小学4年生～中学3年生の男女 ※小学生は親子の部あり

●参加料 2,000円(親子の部4,000円)

●種目 小学生の部(小4～6)

スイム100メートル、バイク3.4キロ、ラン1キロ

中学生の部(中1～3)

スイム150メートル、バイク5キロ、ラン1.5キロ

●家族リレーの部

スイム100メートル、バイク3.4キロ、ラン1キロ

☎ 8月17日(月)までにトライアスロン実行委員会(〒885-0071 中町1街区7号7階) 23-0502

ロビーコンサート

●日時 8月27日(木) 12時20分～

●場所 市役所西館1階ロビー

●出演 都城コロ・ブリランテ (女性コーラス)

☎ 秘書広報課 23-3174

☎ 23-3174



夏休み！盲導犬わくわく塾プラス

●日時 8月25日(火) 10時～12時

●場所 総合社会福祉センター

●対象 小中高生15人(先着順)

※親子や大人だけの参加も可

●内容 盲導犬啓発コーナー、視覚障がい者スポーツ体験ほか

●申込 8月19日(水)までに都城点字図書館 ☎26-11948

●日時 8月30日(日) 14時～

高城観音池まつり

●日時 8月30日(日) 14時～

※小雨決行、歌謡ショーなどは高城総合体育館にて実施。荒天の場合は花火のみ9月6日(日)に延期

●場所 観音池公園

●内容 花相撲、郷土芸能発表、歌謡ショー、花火大会など

※今年はシャトルバスの運行はありません

●日時 10月2日(金) 18時30分～21時(受付開始18時)

●場所 都城グリーンホテル

●内容 若手農業従事者の集まりであるSAPが作った食材を使った料理や、お楽しみゲームなど

●定員 40人(年代性別は問わず)

●参加費 4,000円

●日時 9月18日(金)までに電話またはファクスでSAP北諸県地区ふれあいフェスタ実行委員会事務局(北諸県農林振興局内) ☎38-11554 Fax 38-11610

ウォーキング大会

ウォーキング終了後は、ソーメン流しを楽しめます。

●日時 8月23日(日) 9時集合

●集合場所 八角堂(ごんだの館、安久町)

●参加料 500円(保険、ソーメン流し含む)

●定員 50人 ※先着順

●申込 8月20日(木)までにNPO法人正

応寺ごんだの会 ☎39-3760

人権啓発強調月間関連行事

「夏休みふれあい映画祭」

●日時・場所 8月11日(火) 14時～ 総合文化ホール

●上映作品 「忍たま乱太郎のがんばるしかないさ」「よいいドン！」

「ホートン 不思議な世界のダレダレ」

●日時 8月13日(木) 14時5分～14時50分 U.M.K.テレビ宮崎

●タイトル 夢のつづき

●申込 生涯学習課 ☎23-9545

「人権啓発映画のテレビ放映」

●放送日時 8月13日(木) 14時5分～14時50分 U.M.K.テレビ宮崎

●タイトル 夢のつづき

●申込 生涯学習課 ☎23-9545

●日時 10月2日(金) 18時30分～21時(受付開始18時)

●場所 都城グリーンホテル

●内容 若手農業従事者の集まりであるSAPが作った食材を使った料理や、お楽しみゲームなど

●定員 40人(年代性別は問わず)

●参加費 4,000円

●日時 9月18日(金)までに電話またはファクスでSAP北諸県地区ふれあいフェスタ実行委員会事務局(北諸県農林振興局内) ☎38-11554 Fax 38-11610

●日時 8月21日(金)までに生活文化課 ☎23-2121

●日時 10月31日(土) 10時～16時

●日時 11月1日(土) 9時～15時

●日時 11月14日(土) 10時～16時



講座・教室

初級簿記講習会

簿記の基本から3級の内容までを分かりやすく指導します。

●日程 9月11日(金)～11月9日(月)の毎週、月・火・木・金曜日で、祝日を除く30日間 19時～21時

●場所 都城商工会館

●定員 60人程度

●受講料 3,000円(テキスト代含む)

●申込締切 開催期間中も随時受付

●申込 都城商工会議所 ☎23-0001

●日時 10月31日(土) 10時～16時

●日時 11月1日(土) 9時～15時

●日時 11月14日(土) 10時～16時



講座・教室

マタニティ教室

生まれてくる赤ちゃんに肌着を作ってみませんか。

●日時 9月7日(月)・11日(金)
13時30分～16時30分

●場所 市民健康センター
(市役所地下1階)

●対象 妊娠中の人とその家族

※布代など(500円)～1,000円)は参加者負担。裁縫道具持参

●問い合わせ 23-2684

16ミ映写機

操作免許取得講習会(無料)

●日時 8月20日(木) 13時～16時

●場所 図書館3階小会議室

●対象・定員 1職場(団体)2人まで、20人 ※先着順

●申込 氏名、生年月日、住所、勤務先(所属団体)、電話番号を、電話またはファクスで視聴覚ライブラリー(図書館内) ☎・Fax 21-2565

夏休み親子ふれあい木工教室

●日時 8月16日(日) 8時30分～

●場所 山之口勤労福祉センター

●対象 市内在住の小中学生

※山之口地域を除く

●定員 15組

●申込 8月13日(木)までに社会福祉協議会山之口支所 ☎57-4577

よか・余暇・楽習ネットワーク事業

〔着付け教室〕

●日時 毎月第1・3火曜日 15時～17時 (日時は変更になることがあります)

●場所 中央公民館

●学習料 1回500円～750円 (人数によって変わります)

※冷暖房費など別途必要です

●申込 さらりネット都城 ☎23-4080

離乳食教室

●日時 9月11日(金) 9時30分～

●場所 山之口シルバリーヤングふれあいの里 ※要申し込み

●問い合わせ 23-2684

健康教室(無料)

●日時・テーマ

8月21日(金) 15時～16時

「消化器治療いろいろ」

9月10日(木) 15時～16時 「肝臓病から身を守る」

●場所 三州病院 3階カンファレンス室(花繰町)

●定員 50人 ※要申し込み

●申込 三州病院 ☎22-0230

親と子のスポーツ教室(後期)

●日時 9月9日(水)～11月4日(水)までの毎週水曜日、および10月10日(土)(計10回) 10時～12時

●場所 早水公園体育文化センター(体育館)

●対象 今年度中に3歳または、4歳になる子どもとその保護者

●定員 若干名 ※先着順

●内容 体操、ボール運動、マット運動、トランポリンほか

●費用 1組3,000円(保険料を含む。子どもが2人参加の場合は、4,000円)

※申し込み後にキャンセルした場合も保険料は徴収します

●申込 8月19日(水)(9時～17時)までに電話またはファクス(住所・氏名・郵便番号を明記)で都城地区施設協会

☎24-6454 Fax 24-6460

みやこんじょエコ達人講座

「森を散策しよう」というテーマで森についての話を聞きながら森を散策します。

●日時 8月29日(土) 10時～12時30分 雨天中止

●場所 高城町どんぐり1000年の森1号地、10号地(予定)

●対象・定員 小学生以上 20人

●申込 8月21日までに環境政策課 ☎23-2130



健康教室「かくしゃく100歳」

自宅で誰でもできる筋力トレーニング（お茶の間筋トレ）です。

- 対象 市内在住の65歳以上の人
- 場所・日時

〔祝吉地区公民館〕

8月18日(火)～10月13日(火)の毎週火曜日 9時30分～11時

※9月22日(火)は除く

〔沖水地区公民館〕

8月20日(木)～10月8日(木)の毎週木曜日 13時30分～15時

- 定員 20人 ※要申し込み
- 参加費 無料

●申請

介護保険課 ☎23-3184

初心者向け

外国人のための日本語講座

初めて日本語を勉強する人のための講座です。知り合いの外国人にお知らせください。

- 期日 9月8日(火)～12月11日(金)の毎週火・金曜日(9月18日(金)、22日(火)、25日(金)、10月30日(金)、11月3日(火)は休み)、合計23回、13時30分～15時30分
- 場所 中央公民館
- 受講料 1,000円(テキスト・資料代)
- 定員 15人 ※先着順

●申請

都城国際交流協会 ☎23-2295 Fax23-3223

ma@city.miyakonono.miyazaki.jp

食育教室(無料)

- 日時 9月11日(金) 10時30分～13時(10時集合)
- 場所 都城調理師高等専修学校
- 内容 調理実習・試食(県産の食材を使った低栄養防止料理)
- 対象 50歳以上の人
- 定員 30人(応募者多数の場合は抽選)
- 持参する物 筆記用具、エプロン、三角巾

申請 8月28日(金)までに、電話またはファクスで都城調理師高等専修学校 ☎22-4626 Fax22-5716

都城生涯学習ボランティア指導者認定講習会(無料)

少人数でも学習に参加できる「よか・余暇・楽習ネットワーク事業」をボランティアで指導する生涯学習ボランティアの指導者の登録、認定を行うための講習会です。

- 日時 8月21日(金) 19時30分～21時30分
- 場所 中央公民館 視聴覚室
- 参加資格 ボランティアとして生涯学習を指導する意欲をもち、市内の学習者を指導できる人で、次のいずれかの要件を満たす人

- ①指導分野に関する資格、指導経歴
- ②よか・余暇・楽習ネットワーク事業の学習者で、現在活動しているボランティア指導者から指導者として推薦された人。ただし、推薦を受けることができる指導分野は1分野とし、推薦は1回限り
- その他 カラー写真2枚(縦4センチ×横3センチ)、印鑑、筆記用具を持参

申請 8月19日(水)までに生涯学習課 ☎23-9545



交通事故相談(無料)

都城地区交通安全対策協議会では、交通事故に関する相談を行っています。加害者・被害者は問いませんので気軽に相談ください。

- 日時・場所

毎週月～金曜日 9時～16時

市役所東館2階(市民相談室内)

- 相談専用電話 ☎23-0944

交通事故相談(無料)

- 日時 8月22日(土) 10時～16時
- 場所 コミュニティセンター
- 内容 交通事故全般に関すること

●申請

NPO法人 カルタス(中村) ☎090-8623-1930



相談

赤ちゃん健康相談（無料）

身体測定や、保健師・栄養士による育児相談を行います。

- 対象 1カ月～1歳未満
- 日時・場所

8/20(水) 13時30分～14時
高崎総合支所2階大会議室
8/25(火) 13時30分～14時30分
市民健康センター（市役所地下1階）

※母子健康手帳、バスタオル持参
● 日時・場所

司法書士総合相談センターみやこのじょう
法律無料相談

- 日時 8月19日(水) 18時～21時
- 場所 コミュニティセンター
- 内容 多重債務、サラ金関係、金銭貸借など
- 定員 9人程度 ※要予約

● 宮崎県司法書士協会都城支部
● 25-13240

人権相談

人権相談だけでなく、さまざまな悩みごとの相談にも応じます。

- 日時 8月17日(月) 10時～15時

● 場所 総合社会福祉センター
● 宮崎地方事務局都城支局

● 22-10490

女性相談員による

女性総合相談（無料）

● 電話・面接相談

● 毎月～金曜日 10時～16時

● 専門相談 女性カウンセラー、女性弁護士が相談に応じます

● ところの相談

● 8月18日(火) 14時～16時

● 法律相談

● 8月25日(火) 13時～16時

※専門相談、面接相談は予約が必要です。相談に関する秘密は守ります

● 場所 男女共同参画センター（市役所東館2階）

● 相談専用電話 ● 23-7157

DV被害者の電話相談

● 女性ホットライン・くすのき
配偶者や恋人からの暴力に関する電話相談窓口を設置しています。

● 相談専用電話 ● 36-10740
（毎週土曜日 14時～16時）

産業財産相談事業

特許相談（無料）

● 日時 8月18日(火) 13時～16時

● 場所 都城商工会議所

● 内容 特許、実用新案、意匠、商標など

● 工業振興課 ● 23-2753

行政相談

● 日時 8月20日(木) 9時～12時

● 場所 中央公民館

● 秘書広報課 ● 23-3174

公正証書遺言等相談（無料）

相続、遺言、任意後見契約、賃貸借契約、金銭貸借契約などの公正証書作成に関する相談に応じます。

● 日時 8月24日(月)・26日(水)

9時～19時

● 8月25日(火)・27日(木) 9時～17時

● 12時～13時は除く

● 場所 都城公証人役場

※相談は無料ですが、予約が必要です

● 都城公証人役場

● 22-1804



お知らせ

毎月第3日曜日は「家庭の日」

県では、青少年の健全な育成に関し家庭の役割についての理解を深めるため、毎月第3日曜日を家庭の日として定めています。

家庭の日には、親と子の心触れ合う5つの共感活動で、家族のきずなを深めましょう。

5つの「共感活動」

◎ 共遊 地域行事などに参加して、親子で遊びましょう

◎ 共食 楽しく語り合いながら、家族と一緒に食事をしましょう

◎ 共話 1日の出来事などを親子で話しましょう

◎ 共汗 スポーツや野外活動で、心地よい汗を流しましょう

◎ 共働 奉仕活動などに積極的に参加し、一緒に働きましょう

● その他 家庭の日に、子ども連れて協力店や施設を利用すると、料金割引などのサービスが受けられます。実施日は協力店・施設によって異なります。優待券をお持ちください

● 生涯学習課 ● 23-19545

宮崎県中小企業勤労者

ハッピーライフ資金融資制度

中小企業で働く人へ、九州労働金庫を窓口として、生活資金などを低利率で融資する制度です。

①教育資金（融資限度額300万円）、②生活資金（融資限度額100万円）、③育児介護休業資金（融資限度額100万円）

● 九州労働金庫宮崎県本部ロインセンター宮崎 ● 0120-16012081 10時～19時（土・日曜日は17時まで）



クリーンセンター建設事業

環境影響評価準備書の縦覧

山田町山田に建設する新しいごみ焼却施設であるクリーンセンターの環境影響評価準備書（準備書）を縦覧します。

●縦覧場所 県環境森林部環境管理課、都城保健所、市環境施設課、市役所情報公開コーナー、各総合支所、各地区市民センター ※市ホームページにも掲載

●縦覧期間 8月3日(月)～9月2日(水)（土・日曜日を除く） 8時30分～17時

●募集意見 準備書について、環境保全の見地から、意見がある人は、書面での提出をお願いします ●意見の募集期間 8月3日(月)～9月16日(水)

●意見の提出方法 縦覧場所に設置してある「意見・情報提出書」をご利用ください

●提出先 住所、氏名または団体名を明記の上、県環境森林部環境管理課、都城保健所、市環境施設課または情報公開コーナー、各総合支所、各地区市民センターへ提出してください。なお、住所、氏名などの記載がない意見には、市の考え方を公表しない場合があります

問 環境施設課 ☎23-33319

骨粗しょう症検診

●対象 今年度中に40・45・50・55・60・65・70歳になる女性。ただし、今年の4月1日以降に骨粗しょう症検診を受けた人と骨粗しょう症で治療中の人は除く

●定員 各日程20人 ※申し込み先着順

9月
2日(水)、4日(金)、9日(水)、11日(金)、16日(水)、18日(金)、25日(金)、30日(水)
10月
2日(金)、7日(水)、9日(金)、14日(水)、21日(水)、23日(金)、28日(水)、30日(金)

●受付 14時～14時15分 ●場所 都城健康サービスセンター（大岩田町） ●内容 問診・骨密度測定検査・医師による結果説明

●検診料 300円 ※70歳以上の人、生活保護世帯、市民税非課税世帯に属する人は証明書などを提示すれば検診料が免除されます

申問 健康課 ☎23-2765

地籍図（簿）の閲覧

平成20年度実施の地籍調査で作成した地籍図（簿）に誤りがないか確認ください。閲覧には印鑑を持参ください。

●閲覧できる土地 美川町および

高野町の一部

（滝ノ尾・大田谷・俵迫・田方）

●閲覧場所・日時

①西岳地区公民館 8月12日(水)～21日(金) 9時30分～16時 ※土・日曜日も閲覧できます ②農村整備課 8月24日(月)～9月4日(金) 9時～16時 ※土・日曜日は閲覧できません

問 農村整備課 ☎23-2982

キオビエダシヤクによるイヌマキなどの被害対策

キオビエダシヤクは、イヌマキ（ラカンマキ）・ナギの食葉害虫で、年々4～5回発生します。葉がなくなるまで食害することから、樹木が枯死に至る場合があります。この害虫が市内で確認されています。今後、被害の拡大が懸念されます。今後、注意してください。

なお、飛び回る成虫の防除は困難ですので、イヌマキなどをよく観察し、幼虫の早期発見・防除に努めてください。

●防除方法 少数発生時は、捕殺してください。大量発生時は、薬剤を散布してください。薬剤は、トレボン乳剤（4,000倍液）、スプラサイド乳剤（1,500～2,000倍液）などが効果的です。なお、薬剤散布の際は、飛散

防止対策を行ったうえで散布してください

問 森林保全課 ☎23-2152

北諸県農林振興局 ☎23-4523

戦没者などの遺族の皆様へ

第9回特別弔慰金

公務扶助料や遺族年金などを受けていた人が、平成17年4月1日から平成21年3月31日の間に亡くなるなどして、受給権者がいない場合、一定の要件に該当する遺族一人に対し、額面24万円、6年償還の記名国債が支給されます。請求期間は平成24年4月2日までです。

●請求窓口 福祉課および各総合支所健康福祉課

問 福祉課 ☎23-2980

健康増進センター「観音さくらの里」臨時休業と定休日の変更

温泉施設定期点検および殺菌消毒洗浄作業のため、9月8日(火)から10日(木)の3日間（ただし屋内プールは11日(金)まで）臨時休業します。

また、9月23日(水)（秋分の日）は営業し、翌24日(木)は休業します。

問 観音さくらの里 ☎29-2100



お知らせ

市民公益活動支援事業

都城市の市民運動や市民活動をネットワーク化する事業に対して補助を行います。補助対象事業は、次の内容で提案申請されたものを、市が審査の上、決定します。

- ①市民運動情報誌「友誘遊（ゆうゆうゆう）」の編集と発行事業
- ②市民運動や市民活動が提携や交流を深め、団体間のネットワーク化が促進される事業

●対象 市民団体、NPOなど

●補助額 上限100万円

●申請期間 8月20日(木)まで

●申請書 市のホームページから取得できます

●申問 コミュニティ課

☎ 23-7146 Fax 21-3034

community@city.miyakononjo.miyazaki.jp

障がい者（児）各種手当現況届

特別児童扶養手当、特別障がい者手当、障がい児福祉手当、経過的福祉手当を受給中の人は、8月11日(火)～19日(水)の期間に所得現況届を提出してください。受給者へのお知らせが届いていない人は、福祉課へ連絡してください。

☎ 福祉課 23-2980

商業・法人登記事務取扱庁の変更

8月24日(月)から市内の会社や法人の登記事務取扱庁が、宮崎地方支務局都城支局から宮崎地方支務局登記部門（宮崎市別府町）へ変更になります。

ただし、会社や法人の登記に係る登記事項証明書、印鑑証明書の交付事務（動産・債権譲渡登記に係る概要記録事項証明書の交付事務を含む）、不動産登記事務については、引き続き都城支局で取り扱います。

☎ 宮崎地方支務局登記部門

☎ 0985-2215229

平成21年度

原爆被爆者Ⅱ世健康診断

●対象 両親のどちらかが被爆者健康手帳を所持しており、原爆投下後に生まれた人（胎児被爆者は除く）で、健康診断受診を希望する人。ただし、受診希望者が多数の場合は、未受診者、異常を訴える人を優先します

●申込期間 8月～

●健診期間 9月～（予定）

※日程、実施医療機関の詳細は後日受診希望者に通知します

●その他 健康診断受診料は無料ですが、各医療機関への交通費は自己負担となります

●申問 任意の様式に「被爆者Ⅱ世健康申込」と書き、本人の氏名（フリガナ）・性別・生年月日・住所・電話番号・過去の受診歴（年度および受診結果を記入）・親の氏名・住所・電話番号・被爆者健康手帳の番号を明記の上、9月4日(金)までに県福祉保健部健康増進課疾病対策担当（〒880-8501 宮崎市府通東二丁目10番1号）へ

☎ 0985-2617079

平成21年3月31日から雇用保険制度が変わりました

主な改正事項は以下のとおり

- ①雇用保険の適用範囲の拡大
- ②雇止めとなった非正規労働者に対する基本手当の受給資格要件の緩和と所定給付日数の拡充
- ③再就職が困難な人に対する給付日数の延長
- ④再就職手当の給付率引き上げおよび支給要件の緩和
- ⑤常用就職支度手当の給付率引き上げおよび支給対象者の拡大
- ⑥育児休業給付の統合と給付率引き上げ措置の延長
- ⑦雇用保険率の引き下げ

☎ ハローワーク都城

☎ 22-1745

市営墓地の使用者を捜しています

現在、市では市営墓地の台帳整備を行っています。墓地使用者が既に死亡または住所変更されているにもかかわらず、手続きをされずにそのままになっている区画が多数あります。速やかに使用者氏名変更手続き、あるいは使用者住所変更手続きを行ってください。

また、市営墓地は市有地です。不要になったときは原状に回復して返還しなければなりません。

☎ 環境政策課 23-2130

中小企業退職金共済制度

①掛け金の一部を国・県・市が助成します ②掛け金は全額非課税です ③管理が簡単です ④短時間労働者は、通常の従業員より低い掛金でも加入できます

☎ 中退共福岡相談コーナー

☎ 092-631-2551

☎ 県労働政策課

☎ 0985-2617106

☎ 工業振興課 23-2753



パブリックコメント

【都城市都市計画マスタープラン(案)】

豊かな市民生活の実現に向け、まちづくりを推進するための基本的な方針「都市計画マスタープラン」を定めるに当たり、広く意見を求めます。

●意見の募集期間 8月3日(月)～9月1日(火)

●公表の場所 都市計画課、情報公開コーナー(市役所東館2階)、各地区市民センター、各総合支所 ※市ホームページにも掲載

●意見の提出書類 公表の場所に設置してある「意見・情報提出書」を利用ください。市のホームページからも取得できます

●提出方法 住所、氏名または団体を明記の上、封書で都市計画課(〒885-8555)へ郵送または持参ください。ファクス、Eメールでも受け付けます。情報公開コーナー、各地区市民センターおよび各総合支所でも提出できます。なお、住所、氏名などの記載がない意見に対しては、市の考え方を公表しない場合があります

問 都市計画課
☎ 23-2762 Fax 23-2154
toshikei@city.miyakonojo.miyazaki.jp

事業主の皆さんへ

妊娠または出産したこと、産後産後休業または育児休業などの申し出をしたこと、または取得したことなどを理由として、解雇その他不利益な取り扱いをすることは、法律で禁止されています。

ご存じですか

障がい者(児)の各種手当

●手当の種類・対象 ①特別障がい者手当(20歳以上で重度の障がい)が2つ以上あるか、それと同程度以上の状態にある人 ②障がい児福祉手当(20歳未満で重度の障がいがある人) ③特別児童扶養手当(20歳未満で中度以上の障

問 宮崎労働局雇用均等室
☎ 0985-38-8827

道の駅都城

お帰りなさいフェア

●日時 8月13日(木)～16日(日) 9時30分～18時

●場所 道の駅都城

●内容 都城・宮崎・鹿児島のお土産コーナー実演販売ほか

※期間中、先着100人に冷たいソフトドリンクプレゼント

問 道の駅都城 ☎ 38-4561

休日急病診療機関

●診療時間 9:00～18:00
※歯科は17:00まで



みやざき医療ナビ

月日	医療機関名	電話番号
8/14 (金)	村上クリニック(循・内)	25-2700
	西浦病院(内)	25-1119
	海老原内科(内・小)	64-1211
	倉内整形(整)	22-1252
	土井外科(外・胃・内)	22-1825
	くぼた眼科	26-3100
8/15 (土)	シゲシロ歯科医院	24-7833
	おおくぼクリニック(内)	26-1500
	ケイオークリニック(内・小)	46-4500
	たけしたこども医院(小)	51-0005
	宗正病院(外)	22-4380
	花房医院(泌)	25-1177
8/16 (日)	やの耳鼻科(耳鼻)	27-5222
	わかば歯科医院	21-0582
	森山内外科クリニック(内・外)	21-5000
	有馬医院(内・小)	23-2610
	あきづき医院(内・心内)	36-0534
	もちお蛇原医院(整形・形成)	21-5355
8/23 (日)	山路医院(外・内)	64-3133
	小山田眼科	22-0710
	荒武歯科医院	58-2069
	田口クリニック(内)	24-0600
	富田医院(内・小)	23-4586
	佐々木医院(内)	62-1103
8/30 (日)	川畑医院(外・胃)	46-3225
	石井皮膚科(皮)	23-4588
	西浦耳鼻科(耳鼻)	22-0715
	土持歯科クリニック	25-1515
	藤元早鈴病院(内)	25-1212
	鶴木内科医院(循・内)	26-0008
8/30 (日)	飯屋医院(内・小)	36-0521
	飯田整形外科クリニック(整)	46-5115
	一心外科(外・胃・肛門・内)	52-7788
	宮田眼科	22-1441
	中崎歯科医院	62-5030

※診療機関は変更することがあります
詳しくは、テレホンサービス(医師会 ☎ 23-5555、歯科医師会 ☎ 25-4100)で確認してください

◎みやざき医療ナビもご利用ください
<http://www.e-navi.pref.miyazaki.lg.jp>

●休日当番薬局

8/14 (金)	アート、そうごう広原、いざき調剤 フクシマ、わかば、たかお
8/15 (土)	みまたファミリー、ケーアイ調剤
8/16 (日)	すずかけ、そうごう山田 もちおさくら
8/23 (日)	ハートフル、古川調剤、サンエイ
8/30 (日)	コアファーマシー、さわやか そうごう志和池、調剤くらはら ひむか調剤蔵原、調剤日研

図書館だより

図書館での読み聞かせ

- 都城** お話しの部屋“そら豆”
●絵本の読み聞かせ（未就学児の親子）
8月27日(木) 11:00～11:30
本とお話の会
●日時 9月12日(土) 14:30～
●内容 かぐやひめ(日本昔話)
- 高城** ペンギン会の読み聞かせ
●日時 8月22日(土) 10:00～
●内容 人形劇、絵描き歌
読み聞かせなど

8/16 ▶ 9/15

●問い合わせ
都城市立図書館 ☎ 22-0239
高城図書館 ☎ 58-4224



都城市立図書館
休館日：8月17日・24日・31日、9月3日・7日・14日 / 開館時間：9:30～18:50

高城図書館
休館日：8月16日・18日・25日、9月1日・8日・15日 / 開館時間：9:30～18:00

今月のおすすめの本

「熊襲 巻一」

桑原啓介(著)



都城盆地を舞台に大和朝廷の侵攻に抵抗する熊襲を、共感のまなざしで描いた歴史物語の初巻。

「復刻版 それいゆ」

国書刊行会(出版)

終戦直後の女性たちに夢と美の世界を与えるために、中原淳一が世に送り出した人気雑誌の厳選復刻版です。



「ああ保戸島国民学校」

小林しげる(作)
文研出版(出版)

米軍機による爆撃で犠牲になった大分県の国民学校の子どもたちを描いた物語。戦争と平和について問いかけます。



9/15 (火)	9/12 (土)	9/11 (金)	9/10 (木)	9/9 (水)	9/8 (火)	9/5 (土)	9/4 (金)	9/2 (水)	8/29 (土)	8/21 (金)	8/20 (木)	8/19 (水)	日程	
木之川内小学校	石山体育センター 沖水小学校 祝吉地区公民館	庄内小学校 西岳地区公民館 御池小学校	谷頭児童館 川東小学校	西岳小学校 吉之元小学校	丸野小学校 県営北原団地	上富吉地区体育館 一万城南自治公民館	菓子野小学校 夏尾小学校	梅北小学校 今町小学校	鷹尾五丁目自治公民館 市営都原団地	明和小学校 庄内小学校	志和池小学校 高崎地区公民館 谷頭児童館	川東小学校 ながやま志比田店 ミートショップ	小松原地区公民館	巡回場所
14時00分～16時00分	14時30分～15時00分 13時45分～14時15分 10時11分～11時00分	14時40分～15時10分 13時50分～14時20分 13時00分～13時30分	14時30分～15時00分 15時14分～15時40分	14時15分～15時00分 13時30分～14時15分	13時00分～14時00分 11時00分～11時30分	14時00分～14時30分 13時20分～13時50分 11時40分～12時10分	14時30分～15時30分 13時30分～14時30分	14時30分～15時00分 15時14分～15時40分	14時20分～14時50分 13時40分～14時10分 13時00分～13時30分	13時00分～13時30分 11時30分～12時00分 10時50分～11時20分	13時00分～13時30分 11時10分～11時40分 10時20分～10時50分	15時00分～15時30分 14時10分～14時40分 13時40分～14時10分	13時20分～13時50分	巡回時間

移動図書館くねよん号 巡回予定

都城市ウエルネス交流プラザ インフォメーション

都城市ウエルネス交流プラザ開館5周年記念 ムジカロックフェスティバルin2009 ～TE to TE～

今年も若者たちの暑い夏がやってきた…

- 日時：8月16日(日) 13時30分開演
- 会場：都城市ウエルネス交流プラザ
2階 ムジカホール
- 内容：高校生バンド7組出場
- 問い合わせ
ウエルネス交流プラザ
☎ 26-7770



都城市総合文化ホール インフォメーション

押尾コータロー コンサートツアー2009 “Eternal Chain”

1年半ぶりに押尾コータローが都城に帰ってくる！
たった1本のアコースティックギターから生み出される驚異的なサウンドは、聴く者すべてを魅了する。さらにパワーアップしたライブをお楽しみに！



- 日時：9月23日(木) 17時30分開演
- 会場：都城市総合文化ホール
- チケット：【全席指定】5,000円
* MJ友の会会員500円割引 * 4歳以下入場不可
- 問い合わせ：都城市総合文化ホール ☎ 23-7140

読者からのお便り

このコーナーでは、寄せられた「わたしの一言」の中から一部を紹介しつゝ、また、皆さんから寄せられたご意見につきましても、今後の広報紙作成に生かしていきます。

- ・ 4年前に関東を離れて都城へ引っ越してきました。第一印象通り、都城は優しい人が多く、素晴らしい自然にも恵まれた土地。温泉で癒される生活をして寿命も延びそうな…。感謝して暮らしています。(小松原町 柚子さん)
- ・ 健康教室に参加して6カ月になります。おかげで健康について意識するようになり自分に合った運動やバランスの取れた食事を考えて取り組んでいます。体重も5kg減ったので、この努力をこのまま続けていくつもりです。(高崎町 ハムちゃん)
- ・ 6月号の表紙の早水公園の写真を見て、3歳になる娘が「はなみず公園だ」とにこやかな笑顔で答えました。夏場はお世話になる公園。微妙に間違っていて覚えているのがかわいいです。(花繰町 ツインズママさん)
- ・ 6月号の「自分の住んでいる地区をのぞいてみよう!」を読んで各地区に人づくりや地域づくりのスローガンがあることを初めて知りました。(金田町 ピヨさん)
- ・ 南九州大学都城キャンパスが開校しました。市民が待ちに待った大学です。高度な農業施設が整っていると聞きます。市民も利用できるような大学になってほしいです。(郡元町 Kさん)



国際交流員のひとりごと

ツェンデスレンさん
(モンゴル) Vol.13

ありがとう

5年間でした。私は都城市役所で国際交流員として働いたこの5年間は長くて、短い5年でした。初めての海外生活、初めての職場、初めて口にする食べ物、初めて出会う人々ばかりで、この国で、ちゃんと仕事できるかなと不安に思っていたのはつい最近のような気がするけど、いつの間にか溶け込み、この町が大好きになっていました。これは、優しく温かい心でいつも見守ってくれた都城の皆さんのおかげでした。

霧の服を身にまとい誇り高くそびえ立つ霧島、日本一耳に優しく、心に近く響くみやこんじょ弁、小さな目をダイヤモンドみたいに輝かせながら元気なあいさつをする子どもたち、とても優しく、また、とてもおしゃべりが好きなおじいちゃんとおばあちゃんたち、一緒に笑い、一緒に遊び、一緒に頑張ってくれた家族みたいな温かい周りの人たち、すべてが私の大切な宝物です。ここでこんなにたくさんの宝物ができた私はとても幸せです。本当にありがとうございました。では、またお会いできる日まで。

●問い合わせ 生活文化課・国際化担当 ☎23-2295

▼点線に沿ってお切りください(官製はがきでも可)

今月号を読んでの感想

施設案内

※8月16日～9月15日の日程

◆美術館(姫城町) ☎25-1447
開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)

入館料 無料
休館日 8月17日、8月24日～9月10日、9月14日
* 8月29日・30日、9月5日・6日は、住民票の発行はできません
・夏休み企画(入門)アートの疑問 何が見える? 何を見る?(～8月23日)
・第56回市美展(9月11日～)

◆都城歴史資料館(都島町) ☎25-8011
開館時間 9:30～17:00(入館は16:30まで)

入館料 一般210円 高校生150円 小・中学生100円
休館日 8月17日・24日・31日、9月7日・14日

◆高城郷土資料館(高城町) ☎58-5963
開館時間 9:30～17:00(入館は16:30まで)

入館料 一般210円 高校生150円 小・中学生100円
休館日 8月17日・24日・31日、9月7日・14日

◆人形の館(山之口町) ☎57-5295
開館時間 9:30～17:00(入館は16:30まで)

入館料 一般210円 高校生150円 小・中学生100円
休館日 8月17日・24日・31日、9月7日・14日

◆たちばな天文台(高崎町) ☎62-4936
開館時間 金・土19:00～22:00、日9:30～17:00

入館料 中学生以上300円 小学生100円
・伝統的七夕の夕べ(8月26日 19:00～)
・9月は、木星が見やすい時期です

◆山之口弥五郎どんの館(山之口町) ☎57-3713
開館時間 9:00～17:00

入館料 無料
休館日 8月17日・24日・31日、9月7日・14日

◆旧後藤家商家交流資料館(高城町) ☎58-6900
開館時間 10:00～16:00

入館料 大人200円 小・中学生100円
休館日 8月17日・24日・31日、9月7日・14日
・後のひな展(9月1日～9月13日)

イベントカレンダー



※[]内は場所、☎は問い合わせ先

8月	
14日(金) 18:30～	高城盆踊り [高城運動公園野球場] ☎高城教育課 ☎58-2317
14日(金)～ 16日(日)	安楽寺盆踊り大会 [安楽寺] ☎安楽寺(山之口町) ☎57-3838
16日(日) 13:30～	ムジカロックフェスティバルin2009 [交流プラザ] ☎交流プラザ ☎26-7770
22日(土) 17:00～	サマーフェスティバルin横市2009 [横市地区公民館広場] ☎横市商工振興会 ☎24-1922
30日(日) 14:00～	高城観音池まつり [観音池公園] ☎高城観光協会 ☎58-6900
9月	
5日(土) 10:30～	12番街かっぱげんき市 [中央通り12番街] ☎商業観光課 ☎23-2983
5日(土) 15:00～	重陽の節句と後のひな お茶会 [旧後藤家商家交流資料館] ☎旧後藤家商家交流資料館 ☎58-6900
12日(土)～ 13日(日)	都北地区学校創意工夫作品展 [交流プラザ] ☎工業振興課 ☎23-2753
13日(日) 8:00～	都城ほんち市 [東中町通り] ☎都城商工会議所 ☎23-0001
13日(日) 8:00～	あじさい市 [山之口勤労福祉センター] ☎あじさい市部会 ☎57-2016
13日(日) 10:00～	くまその里よろず市 [滝の駅せきのお] ☎くまその里よろず市実行委員会 ☎37-0373

PRESENTS

都城

読んで当てよう
知って当てよう
広報みやこのこまじ

広報クイズ
読者
プレゼント
Vol.44

電話番号 () -
クイズの答え
①
②
③

フリガナ
氏名
ペンネームまたはエニシヤル
住所 □□□□□□□□
※記入がない場合は、エニシヤルで表示させていただきます

お手数ですが、
50円切手を
お張りください

都城市役所 秘書広報課 行
(広報都城 No.44 2009年8月号)

8858555

POST CARD

都城市現住人口

平成21年7月1日現在	(前月比)
世帯数	70,585世帯 (-4)
人口総数	168,257人 (-27)
男	78,860人 (7)
女	89,397人 (-34)

※国勢調査に基づく推計人口です。

今月の表紙

盆地に夏の訪れを告げる風物詩「六月灯」

都城盆地の夏の風物詩「六月灯」が秋葉神社（平江町）を皮切りに、市内の神社や公民館などで8月中旬ごろまで開かれています。この祭りは旧薩摩藩領内に伝わる伝統行事で、田植えが終わるこの時節に開催。神社には子どもたちが作った灯籠が奉納され、浴衣姿の家族連れらは、ほのぼのとした明かりに見入っていました。また、多くの出店が軒を連ね、金魚すくいをしたり、神社にお参りをしたりして夏の夜祭りを楽しんでいました。



編集後記

Editor's note

梅雨が明け、夏本番。今年は災害をもたらす長雨もなく何よりでしたが、これからは台風のシーズン。これまでに防災の特集で紹介したように“備えあれば憂いなし”です。事前の準備を怠りなく！さて、夏の楽しみといえば祭り。先月から始まった六月灯は盆地の夏の風物詩、薩摩の時代から綿々と伝え継がれてきた祭りです。家族や友だちを誘って露店をのぞいたり、花火を見たりして、夏の思い出をつくってみてはいかがでしょうか。（栗）

市の提供番組紹介

TV

テレビ番組の案内

Television

■BTVケーブルテレビ(デジタル111ch、アナログ5ch)

※毎回10分間放送

「みやこんじょジャーナル」

- ① 6:50 ~ ② 11:50 ~ ③ 17:50 ~
④ 20:50 ~ ⑤ 22:50 ~

■今後の放送予定

8月21日~31日

「発掘ってなに」

9月1日~10日

「高城後藤家商家資料館」

9月11日~20日

「体験してみよう！ 盆地博覧会」



のちのひな展の様子



ラジオ番組の案内

Radio

■MRTラジオ(AM放送936kHz)

「みやこのじょうドキドキナビ」

毎週：月~金曜日(祝日除く)15:30~15:45

市民参加型のラジオ番組を放送しています。

出演については、秘書広報課(☎23-3174)

■シティエフエム都城(FM放送76.4MHz)

「インフォメーションM」 毎週：月~金曜日

9:49~9:54、16:25~16:30(再)

市からのお知らせ、イベント情報などを放送します。

毎週火曜日放送の「BON☆(ボンスタ)」

(12:00~13:00)でも、市政情報や市民活動の

紹介などを放送しています

- ◆6月号クイズ結果 応募総数38通
- ◎正解 ①福祉 ②ふるさと ③ハロ―

◎6月号当選者 篠原 義行さん(南鷹尾町)
5月に入り、都城少年少女発明クラブが27年目の活動に入りました。希望者が多くて困惑する面もありますが、物づくりに関心のあつた子どもが多くなつたことがうれしいです。

◎発表 本紙10月号
※商品は、寄付者から提供されたものです。なお、商品の提供については秘書広報課に問い合わせください

◎応募締切 8月31日(月)
当日消印有効

◎商品取扱事業者
昭栄堂(甲斐元町)
☎22-4318

◎プレゼント
関之尾せんべい1箱

※応募者の個人情報、広報クイズの応募の受け付け、当選者への商品の発送以外には利用しません

◎応募方法 はがきにクイズの答え、住所、氏名、電話番号と、わたしの一言や8月号を読んだ感想を書いて、〒885-8555 市役所秘書広報課まで。正解者の中から抽選で1人にプレゼントを差し上げます。

問③「人の風景」で紹介した山口孝貴くんが全国3位になった全国大会は「小学生○○名人戦」

問②ビニールは燃やせないごみ。では、穴を開けたカセットボンベやスプレー缶は「○○ごみ」

問①8月中旬まで開かれる都城盆地の夏の風物詩である祭りは「○○○○」(本ページ参照)

